

# 哺育・育成センターの運営支援

子牛の飼養管理改善による育成牛の発育向上

◆活動年次：令和3～4年度

(課題番号 15)

◆対象：日高町 哺育・育成センター及び利用農家3戸

## 1 課題の背景

地域の現状

- ①高年齢農家の営農継続
  - ②大規模農家の省力化
- これを目指して

**哺育育成センター（日高キャトルセンター）設立**

課題

- ①酪農家：預託前の子牛管理による免疫向上
- ②哺育育成センター：預託後の発育向上

課題解決に向けた普及センターの取り組み

- 1 酪農家への支援（初乳給与徹底）
- 2 哺育育成センターへの支援

**子牛の免疫向上と  
哺育・育成牛の発育  
アップを図る！**

## 2 活動の内容

### 1 酪農家への支援

初乳給与の徹底を推進！

前年度の活動で作成した初乳給与啓発資料を活用し、酪農家に初乳給与徹底を推進するなど情報提供して改善を図った。

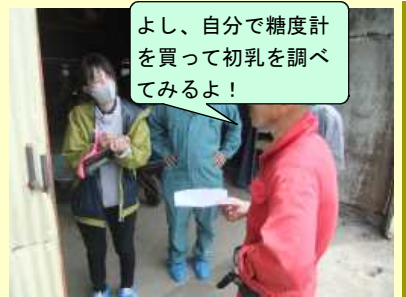
**初乳給与啓発資料**

- ① 出生後6時間以内に、最低3L以上

分娩後1回目に搾った生乳を子牛がお腹いっぱいになるまで飲ませましょう。  
分娩後6時間経過しても子牛が飲まない場合は、カテーテルを使用し、強制哺乳をしましょう！

- ② 初乳給与は、**母牛初乳・冷凍初乳>初乳製剤**

初乳には①抗体の移行、②栄養の給与の二つの役割があります。  
初乳製剤は初乳量が不足した時に補助として使用。できるだけ生乳と併せて給与しましょう。  
製剤のみの使用する場合は、2～3歳が必要毎kg 150g程度です。



### 2 哺育・育成センターへの支援

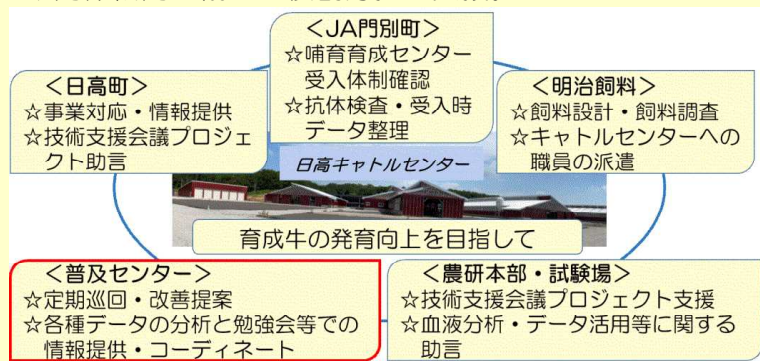
#### ①定期巡回と改善提案の実施！

- ◇キャトルセンターの定期巡回を行い、飼養実態や管理状況を確認した。
- ◇さらに改善事項を整理するとともにキャトルセンター代表や従業員へ提案した。



#### ②哺育育成牛の発育分析と情報の共有！

◇関係機関で協力・役割分担し支援。



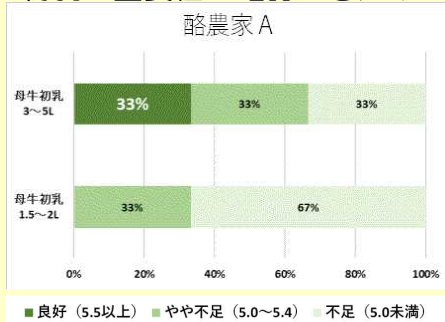
- ◇普及センターは体重測定データ等を分析・整理した。
- ◇血液検査分析・発育分析等ので情報共有を図った。



### 3 活動の成果

#### 1 酪農家への支援

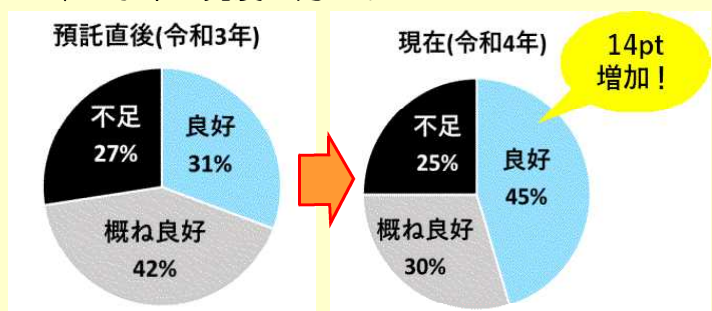
◇ 初乳の重要性が確認できた！



導入子牛の初乳給与とTP（血中総蛋白）値の関係

十分な初乳給与により、血液検査（TP値）が良好になり免疫量が増加することがわかった！

◇ 子牛の免疫が向上！



酪農家BのTP（血中総蛋白）値の充足割合

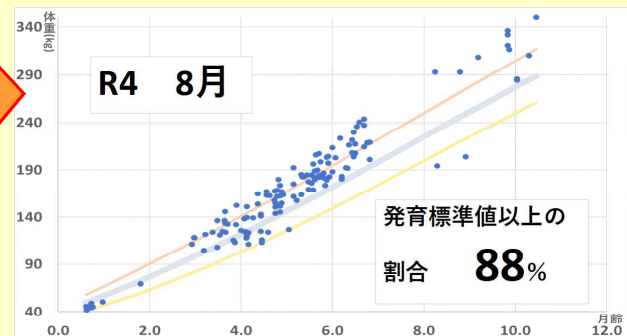
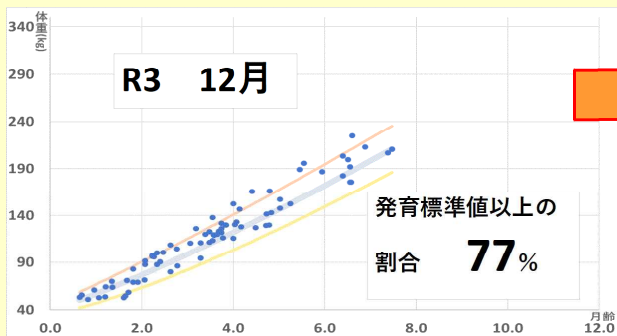
初乳給与の推進により、初乳給与を行った酪農家では、TP値が良好の割合が増え、免疫向上につながった！

#### 2 哺育・育成センターへの支援

①飼養管理が改善され、哺育育成牛の発育が向上した！

定期巡回時の主な問題点と飼養管理変化例

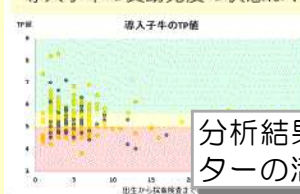
- ・残飼が多い、飼料の再利用 → 半日量を給与し都度追加、再利用中止
- ・配合飼料を牛が食べづらい → ネックバーの調整を実施
- ・牛床、通路の清掃不十分 → 新スタッフの採用による清掃の改善
- ・飼槽の前に滞水が見られる → スクレイパー・モップでこまめに吸水
- ・冬期の牛舎天井結露、牛床滞水 → 十分な換気により改善



②哺育育成センターの情報共有

データの分析と報告により、キャトルセンターの実態や改善効果に対するセンター職員、JA等関係機関の理解が深まった。

導入子牛の受動免疫の状態は？



今後の普及センターの活動は？

- ・冬期定期巡回(1月開催予定)
- ・データの分析と報告(免疫抗体値・初乳給与量・体重)
- ・分娩環境・乾乳牛の飼養管理改善

分析結果や普及センターの活動を共有



#### 4 今後の課題

- ◇ 酪農家への対策支援  
免疫不足の割合を低下させる。
- ◇ 哺育・育成センターへの発育向上支援の強化  
発育にバラつきが見られるため、支援の継続・強化が必要。